

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年08月28日

計画の名称	7 名取市内の各生活圏の交流促進を図り、安心して安全な交通等を支援する社会資本整備												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	名取市												
計画の目標	名取市内の各生活圏の交流促進を図り、安心して安全な道路空間と一体となった住環境空間を支援するための社会資本整備を行う												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,580	A	5,580	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 平成27年	中間目標値 平成29年末	最終目標値 平成31年末
1	安全歩行空間通行可能指数(人) 安全歩行空間通行可能指数 (目標歩行者通行量/日) × (歩道整備済延長/歩道整備計画延長)	0人	26人	852人
2	快適車道走行可能指数(台) 快適車道走行可能指数 (目標自動車交通量/日) × (改良済延長/整備計画延長)	0台	1553台	10113台

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	名取市	直接	名取市土木課	市町村道	改築	(他)笠島川内線	現道拡幅 L=3.9km	名取市						4,284	-	
	A01-002	道路	一般	名取市	直接	名取市都市計画課	市町村道	改築	(1)植松田高線ほか	公共サイン設置N=25基	名取市						45	-	
	A01-003	道路	一般	名取市	直接	名取市土木課	市町村道	改築	(他)七島浜田線	現道拡幅 L=0.3km	名取市						111	-	
	A01-004	道路	一般	名取市	直接	名取市土木課	市町村道	改築	(他)佐久間線	現道拡幅 L=0.4km	名取市						190	-	
	A01-005	道路	一般	名取市	直接	名取市土木課	市町村道	新設	(1)熊野堂柳生線	バイパス L=0.8km	名取市						950	-	
												小計						5,580	
												合計						5,580	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	33	153	226	64	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	33	153	226	64	
前年度からの繰越額 (d)	0	28	124	223	
支払済額 (e)	5	57	127	237	
翌年度繰越額 (f)	28	124	223	50	
うち未契約繰越額(g)	0	65	209	31	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	35.91	59.71	10.8	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		用水管理者との協議に不測の時間を要したため	交通管理者との協議に不測の時間を要したため	用地交渉難航のため	

事前評価チェックシート

計画の名称： 7 名取市内の各生活圏の交流促進を図り、安心して安全な交通等を支援する社会資本整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針と適合している	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

1) 関係機関や市民等の理解が得られているなどの環境整備が図られている

○